

59社の個性が競演

きょう3日まで東京国際フォーラムで開かれている「ジャパン・ベストニット・セレクション(JBKSS)2014」。初日から多くの来場者が訪れ活況を呈している。ニット、カットソー、生地・素材のゾーン別に紹介する。(3面参照)

独自性に付加価値

ニットゾーン

林田は、和歌山の自社工場を活用した紳士・婦人の上質な製品OEMを提案している。ニットに強縮絨をかけた紳士ニットジャケットや、カシミヤ・ダブルフェースの婦人コートなど、一格上のモノ作りに関心が集まった。

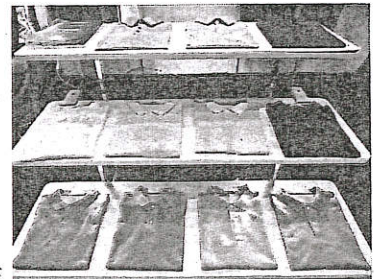


初出展となった五泉ニット工業協同組合青年部

オーダーニットも好調な林田

会は、ニッター・製品OEMの5社と加工場2社で出展。糸から生地、刺繍を含む加工、製品まで産地内で一貫したモノ作りができる利点を生かし、深く取り組めるアップルなどの新規開拓を図る。

中山メリヤスは、同じ市内の整理加工の大恵、プリントのこぎき繊維加工と共に、トリアルブルスで念願の初出展を果たした。希少な編み機を駆使した独自性の高い編み地に、多彩な加工・プリントを施した婦人服などが注目される。



中半産業はポロシャツを本格提案

強みを生かした提案

カットソーゾーン

今回、原点回帰を掲げた中半産業は、メンズ向けのポロシャツを中心に提案した。昨年はワンピースなどレディース中心に力を入れたが、今年は同社が主軸とするメンズ商品を前段的に打ち出す。安泰ニットは、ヘリンボンや李系調などテサインにこだわった15秋冬

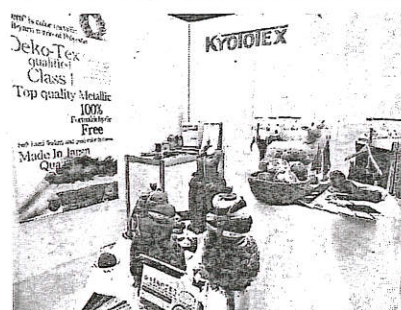
向け商材を中心に案じた杉田メリヤス工業披露した。メンズは、千鳥柄のメンズアウトレディースを合ターを打ち出す。デザインを合わせて約100点も凹凸感を強調したも用意。オーダーメのなど工夫を凝らしたもード商品をスマーのが目立った。

高級原料で差別化を図る

靴下&テキスタイルゾーン

生地や細かい部分の形も自由に選択でき3D表示で対応する。メンズ向けを新たに提案

JKSSの靴下&テキスタイルゾーンでは、フジスタイルグループが東洋紡、STCと共同開発したインド最高級超長綿(ハ)イブリード綿(マハラニ)を提案し好評だった。ソフトで、光沢感と発色性に優れる。16春夏から本格販売する。インディ



キョウトテックスのブース

キョウトテックスはラメ系に特化して提案した。「原料代が上昇しているが、円安で輸出しやすさという実感はまだ少ない」と言う。同社はエゴテックス規格100のなかで最も厳しいクラス1の認証を取得。今回、有害物質のない「ゼロシリズ」として訴求した。